

令和2（2020）年3月26日 内閣府主催

経済・財政の「見える化」と「生活の満足度」に関するシンポジウム

～地方自治体単位の分析と政策反映について～

# 幸福度調査の自治体行政への 活用について —東京荒川区の取り組み事例を参考に—

聖学院大学 政治経済学部 政治経済学科 特任教授  
公財) 荒川区自治総合研究所 理事  
猪 狩 廣 美

# 1 はじめに

- 近年、住民の「幸福度」或いは「満足度」を政策推進の一つの視点として取り入れようとする自治体が増えている

例：佐賀市、長久手市、阿南市、

荒川区などの「幸せリーグ」95基礎自治体

岩手県、福井県 など

- 各自治体は、住民の幸福、満足を高めようと、それぞれに創意工夫を重ねている。

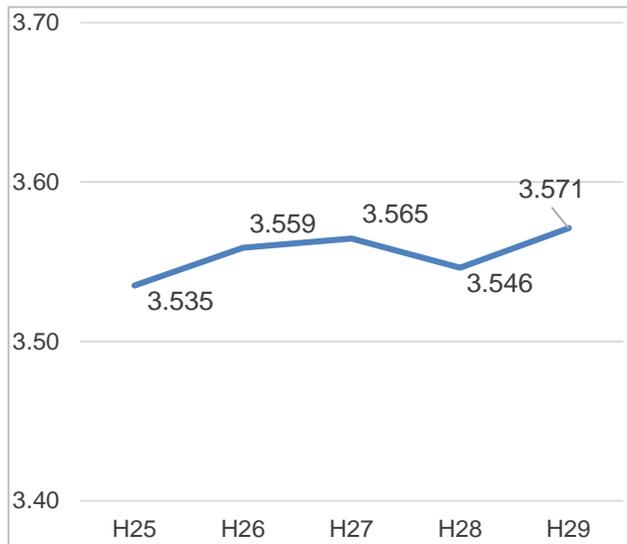
- 本講では、実務的活用に視点を置いて、平成16（2004）年度から取り組みを進めてきた東京荒川区での「幸福実感指標」の活用事例を中心に、その活用事例について報告する。

※なお、本講では、「幸福感」と「満足感」をあえて区別しない。

## 2 幸福度指標の設定①

- 主観指標としての「幸福度」「満足度」
- 導入しやすい「総合的幸福度」「総合的満足度」
  - ← 取り組んできた政策への総合的な住民の評価と捉えて
- 荒川区における『総合的幸福実感度』
  - 「あなたは幸せだと感じますか？」

大いに感じるを5、全く感じないを1として、5段階評価



これだけでは、活用が広がり難い。

## 2 幸福度指標の設定②

### ○ 指標の設定、体系化の試み

総合的な幸福感・満足感はどんな構造？

例：住民アンケート

審議会・研究会での議論

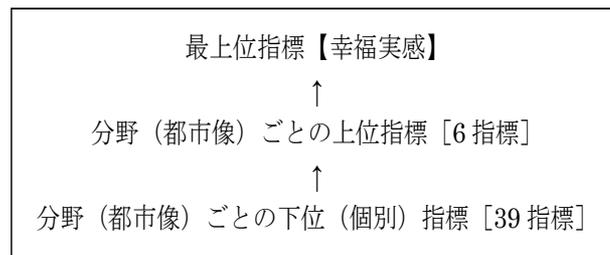
地域ごとに住民と職員が議論を重ねて など

荒川区の仮設（割り切り）

住民、議会、執行機関が合意した、

目指すべき将来像・政策体系である

『基本構想』にそって、体系化してみる。



← 政策と指標が関連付けられ易くなる！

## 2 幸福度指標の設定③

### <基本構想>

#### 【将来像】

幸福実感都市あらかわ

### <幸福度指標>

#### ←総合的幸福実感（1）

「あなたは幸せだと感じますか？」

幸福実感(1)

#### [6つの都市像]

#### ←上位指標（6）

○ 生涯健康都市

「心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？」

健康実感(8)

○ 子育て教育都市

「お子さんが健やかに成長していると感じますか？」

子供の成長(7)

○ 産業革新都市

「経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？」

生活のゆとり(6)

○ 環境先進都市

「お住いの地域がバリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？」

生活環境(6)

○ 文化創造都市

「充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？」

文化・コミュニティ(6)

○ 安全安心都市

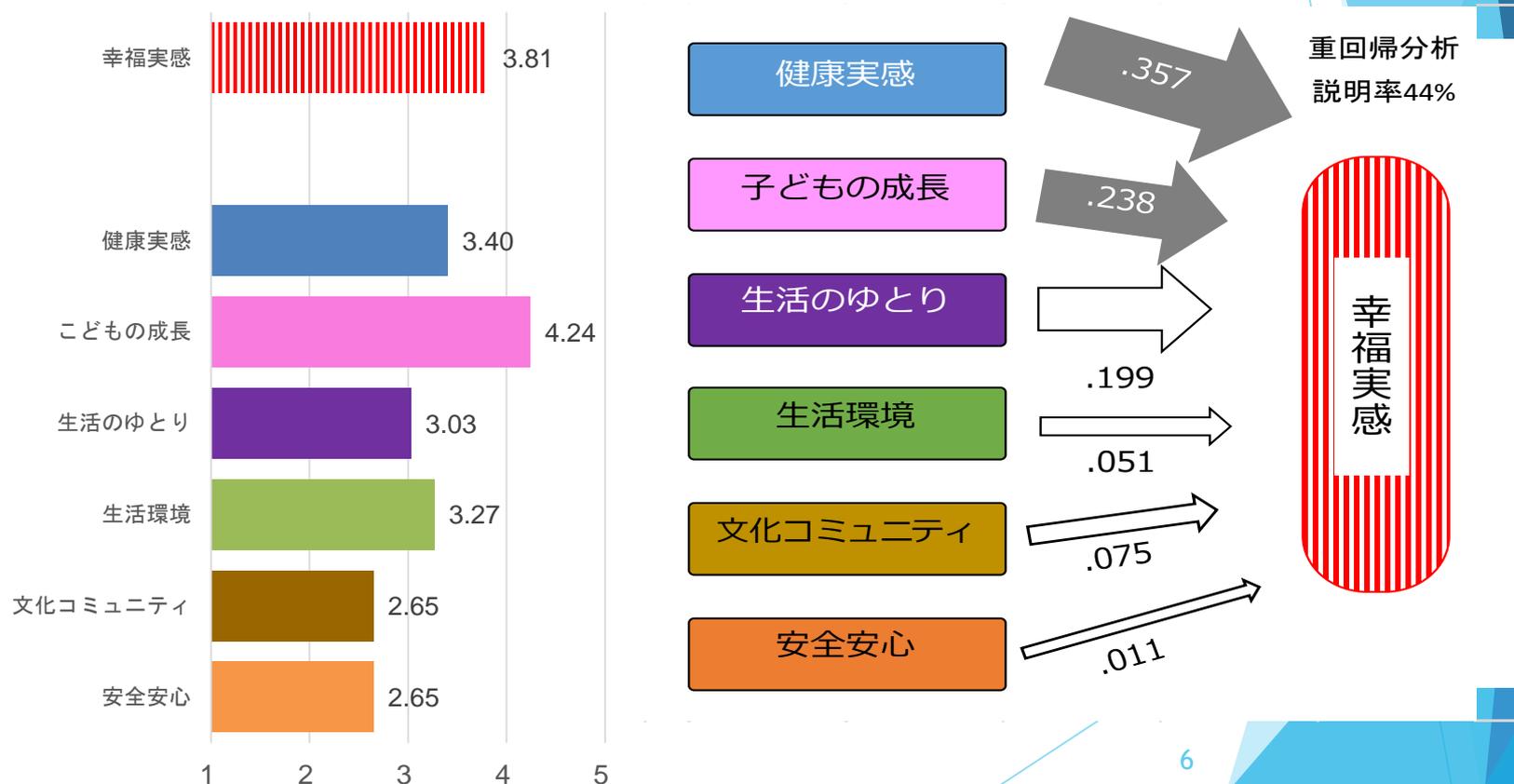
「お住いの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？」

安全安心(6)

## 2 幸福度指標の設定④

(参考)

アンケートデータが集まった後に各上位指標で最上位指標がどの程度説明できるかを見てみると...



各上位指標の実感度と幸福実感への影響度 (18歳未満の子どもがいる人) (n=1,591)

## 2 幸福度指標の設定⑤

### 荒川区の幸福度指標

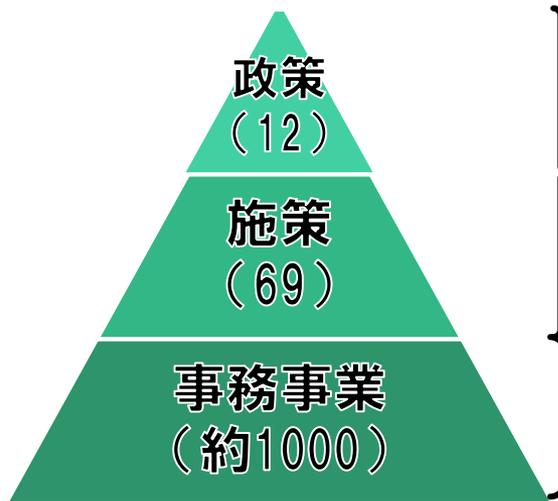
＜アンケート質問文は別添資料を参照＞

健康・福祉	体の健康	①運動の実施	環境	利便性・ユニバーサルデザイン	⑤施設のバリアフリー	
		②健康的な食生活			⑥心のバリアフリー	
		③体の休息			⑦交通利便性	
	心の健康	④つながり		快適性	⑧まちなみの良さ	
		⑤自分の役割		持続可能性	⑨周辺環境の快適さ	
		⑥心の安らぎ		⑩持続可能性		
	健康環境	⑦医療の充実		⑪生活環境の充実		
		⑧福祉の充実		文化	余暇活動	⑫興味・関心事への取組
	⑨健康の実感					⑬生涯学習環境の充実
子育て・教育	「生きる力」	⑩規則正しい生活習慣	地域文化			⑭地域への愛着
		⑪「生きる力」の習得			⑮地域の人との交流の充実	
	家族関係	⑫親子コミュニケーション			⑯地域に頼れる人がいる実感	
⑬家族の理解・協力		⑰文化的寛容性				
子育て教育環境	⑭子育て・教育環境の充実	⑱充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感				
	⑮地域の子育てへの理解・協力	安全・安心	犯罪		⑲防犯性	
⑯望む子育てができる環境の充実	事故				⑳交通安全性	
⑰子どもの成長の実感				㉑生活安全性		
産業	仕事		⑱生活の安定	災害	㉒個人の備え	
			⑲ワーク・ライフ・バランス		㉓災害時の絆・助け合い	
			⑳仕事のやりがい		㉔防災性	
	地域経済		㉑まちの産業	㉕安全・安心の実感		
			㉒買い物の利便性	④6幸福実感		
㉓まちの魅力						
㉔生活のゆとり						

# 3 活用のステージ I -1-① (単純集計の活用)

## 各指標を行政評価とリンク

政策・施策と指標を紐づけて、  
評価・分析ツールとして活用



GAH指標  
(幸福実感指標)

より詳細な  
成果指標を  
事業ごとに選定

政策分析シート (平成29年度)

政策名	生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現			政策No	01	部名	健康部	
関連部名	福祉部		部長名	倉橋	内線	420		
行政評価事業体系	分野	I 生涯健康都市						
目的	区民一人一人が生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと生活できるような環境を整備する。							

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		26年度	27年度	28年度	
①	健康実感度	3.31	3.36	3.29	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか?
②	運動の実施度	3.25	3.28	3.15	体を動かしたり運動したりすることができていると感じますか?
③	健康的な食生活の実感度	3.39	3.42	3.38	健康的な食生活を送ることができていると感じますか?
④	体の休息度	3.29	3.31	3.27	体を休めることができていると感じますか?
⑤	心の安らぎの実感度	3.53	3.56	3.51	心が安らぐ時間を過ごすことができていると感じますか?
⑥	医療の充実度	3.38	3.41	3.43	お住まいの地域に、安心してあかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか?
⑦					

指	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み (38年度)		
①	健康寿命(男性)(歳)	80.22	80.30	-	80.6	81.0	65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値)
②	健康寿命(女性)(歳)	82.53	82.56	-	82.6	83.1	65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値)
③	早世(男性)(3ヶ年平均)	95.19	95.7	88.12	87.0	80.0	40~64歳の標準化死亡比*(100以上は全国より高い)
④	早世(女性)(3ヶ年平均)	91.65	88.0	73.50	73.0	70.0	40~64歳の標準化死亡比*(100以上は全国より高い)
⑤	健康状態がよいと感じる人の割合(%)	40.4	41.9	39.1	40.0	50.0	GAH調査
⑥	国民健康保険被保険者1人あたり医療費(円)	295,123	307,350	312,017	316,755	-	総費用額÷平均被保険者数
⑦	特定健診受診率(%)	44.6	45.2	42.6	60.0	60.0	見込み及び目標値は第二期実施計画の目標値

幸福度指標と関連指標から、  
現状・課題・成果・今後の方向性を明らかに



# 3 活用のステージ I -2

## ▶ 個別計画への活用

例：荒川区健康増進計画

計画全体の大目標として**幸福度指標のうち、**

**「健康状態が良いと感じる」**人の割合を46.9%にすることに設定  
(現状から3ポイントUP)

中位目標は、健康寿命（男81.22歳、女83.53歳にUP）  
早世（男92.7、女85.0にDOWN）

重点目標は、糖尿病、ロコモティブシンドローム対策  
がん対策

個別目標は、健康づくり、食育、運動、禁煙、アルコール、こころ、口腔

← 幸福度指標と客観指標を各目標に紐づけて成果指標としている。  
(次葉参照)

## 平成 29～33 年度 荒川区健康増進計画の指標管理表

- 1 各々の目標値は、現状値を踏まえ、5年後（平成33年度）に達成すべき目標値として定めています。
- 2 その設定の基本的考え方は以下のとおりです。
  - ① 目標数値の設定は「3%」の増減
  - ② 環境整備等数値目標が困難な場合には、その方向性を示す文言で提示

### ※一部抜粋

体系	分野別指標	基準値	年	目標値 (H33年度)	出典
大・中目標	健康状態がよいと感じる人の割合《重点目標》	41.9	27	46.9	GAH
	健康寿命(男性) 《重点目標》 ※策定時、平成22年度のデータ算出中のため、平成21年度を基準値とする。	80.22 H26	26	81.22	東京都保健所長会方式での65歳健康寿命
	健康寿命(女性) 《重点目標》 ※策定時、平成22年度のデータ算出中のため、平成21年度を基準値とする。	82.53	26	83.53	
	早世(男性) 《重点目標》	95.7	27	92.7	健康推進課
	早世(女性) 《重点目標》	88.0	27	85.0	健康推進課
	健康づくりの環境整備	あらかわNO1メタバチャレンジャー修了者数累計数(平成20度から)	469	27	869
あらかわ満点メニュー提供店を知っている人の割合		58.5	27	61.5	区政世論調査
荒川ころばん体操の実参加人数		1,710	27	1761	健康推進課
荒川ころばん体操の延べ参加人数		60,432	27	62,244	健康推進課
どこでも健康教室・健康相談の回数・参加人数		91回 4,846名	27	94回 4,991名	健康推進課
困っている人を見かけた時に声をかけたりしやすい雰囲気があると感じる		23.8	27	26.8	GAH
食塩の推進(高血圧対策として減)	朝食を3回/週以上食べない割合(男性)	20.0	27	17.0	特定健診(問診票)
	朝食を3回/週以上食べない割合(女性)	13.1	27	10.1	特定健診(問診票)
	就寝前の2時間以内の夕食3回以上/週(男性)	27.8	27	24.8	特定健診(問診票)
	就寝前の2時間以内の夕食3回以上/週(女性)	16.3	27	13.3	特定健診(問診票)
	野菜を多く摂る人の割合(男性)(女性)	新	29	3%増加	世論調査
	塩分を控えている人の割合(男性)(女性)	新	29	3%増加	
	栄養相談利用者数	505	27	520	健康推進課
	健康的な食生活を送ることができていると感じる	44.6	27	47.6	GAH
こころの健康づくり	睡眠で休養が十分とれている人の割合(男性)	77.1	27	80.1	特定健診(問診票)
	睡眠で休養が十分とれている人の割合(女性)	73.1	27	76.1	特定健診(問診票)
	孤立感や孤独感を感じない	57.2	27	60.2	GAH
	自分の役割があると感じる	57.1	27	60.1	GAH
	心がやすらぐ時間をもつことができていると感じる	52.1	27	55.1	GAH

# 3 活用のステージ I -3

## ▶ 人材育成ツールとして活用

- 行政評価の分析シートの作成責任者を設定

  - 政策：部長

  - 施策：課長

  - 事業：係長&担当者

    - ← 自らの担当業務の成果指標は自身の責任で達成

- 人事評価制度では、担当業務の成果目標を自ら掲げることに

  - ← 幸福度指標の向上が自身の職務目標

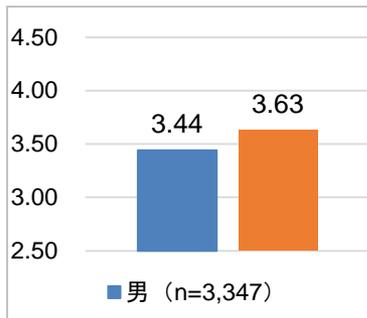
# 3 活用のステージⅡ-1（クロス集計）

## ▶ 政策の企画・立案、及び重点化への活用

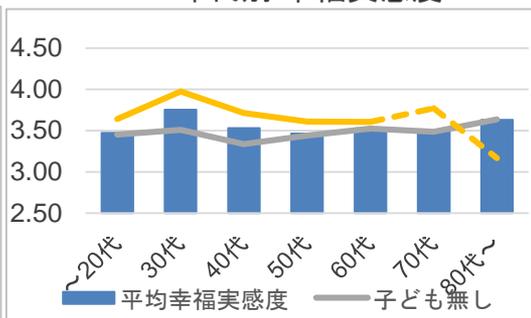
### ○ 活用のためのアンケートデータの分析

#### 1 属性別の幸福実感（抜粋）

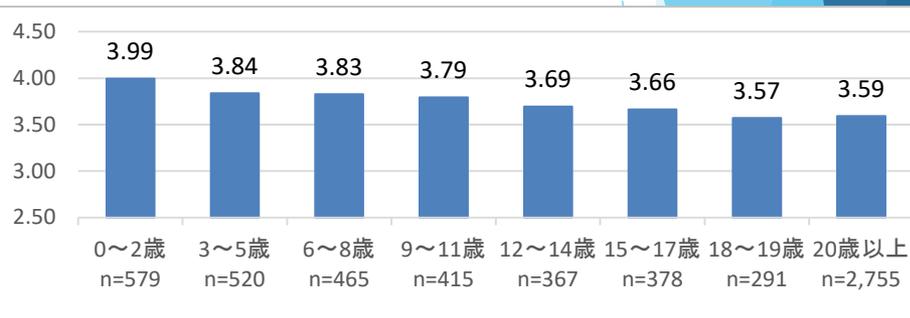
男女別 幸福実感度



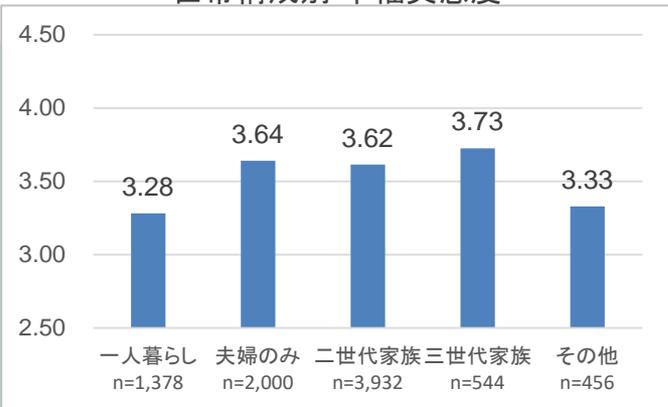
年代別 幸福実感度



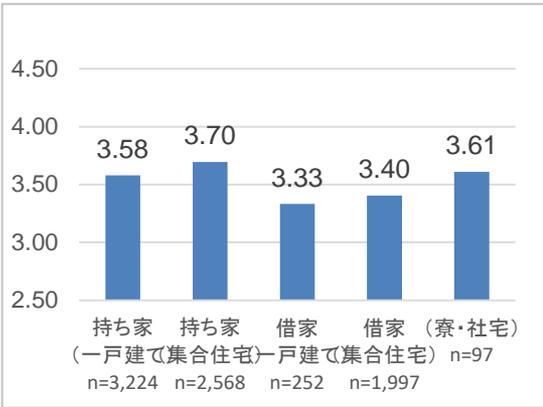
子どもの年齢別 幸福実感度



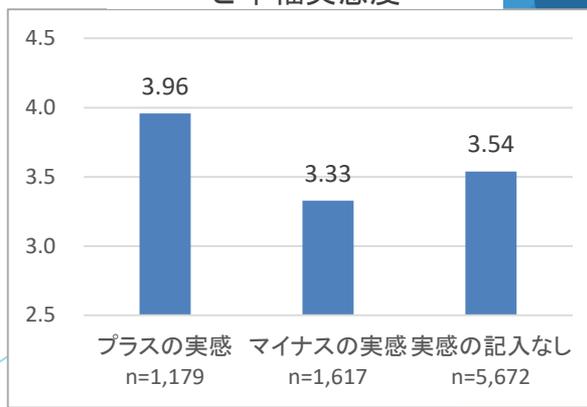
世帯構成別 幸福実感度



居住形態別幸福実感度



人生に影響を与える出来事と幸福実感度

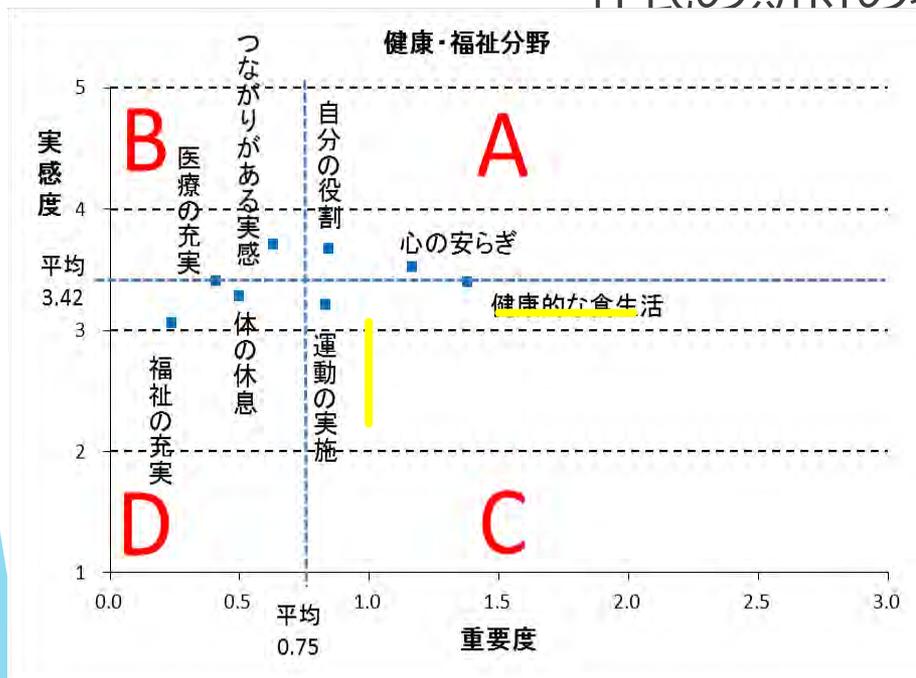


### 3 活用のステージⅡ-2

- ▶ 政策の企画・立案、及び重点化への活用
  - 活用のためのアンケートデータの分析

2 区民の期待に応じていくために  
分野別に、幸せにとって重要だと思う下位指標を順位付け  
⇒これを点数化して重要度とし、

住民の期待の表れと評価



重要度が高いにもかかわらず、実感度が低い指標は、「住民の期待が充足されていない指標」として重点対策の対象に

# 3 活用のステージⅡ-3

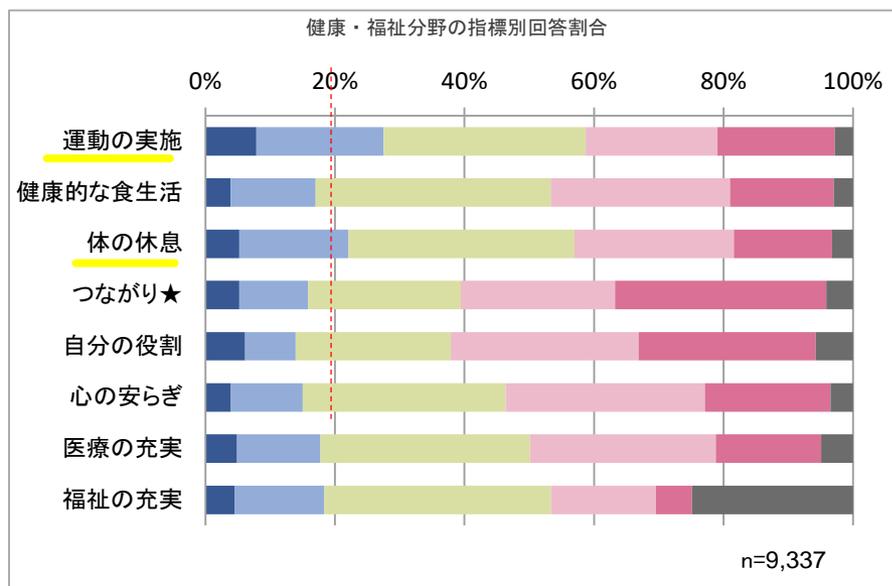
## ▶ 政策の企画・立案、及び重点化への活用

### ○ 活用のためのアンケートデータの分析

3 不幸を減らしていくために（実感度の低い指標をボトムアップ）

5段階評価で1・2と回答した人の多い指標に着目

⇒ 20%を超えた指標は重点対策の対象に



### 3 活用のステージⅡ-4

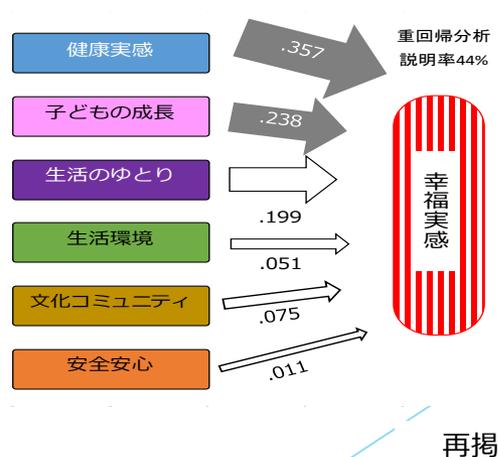
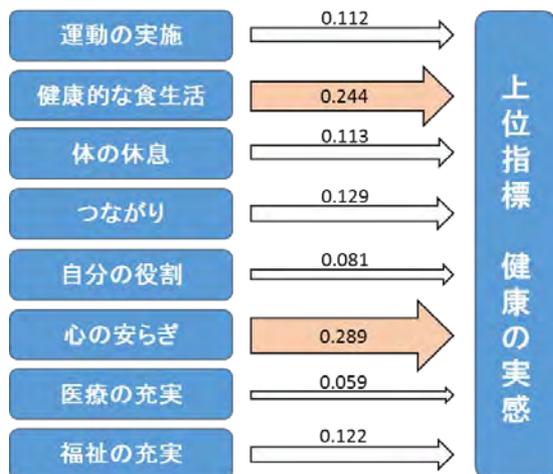
▶ 政策の企画・立案、及び重点化への活用

○ 活用のためのアンケートデータの分析

4 最も効果的に住民の総幸福実感を向上させていくために  
(因果関係に着目)

個別の指標を説明変数、上位指標を被説明変数として、  
重回帰分析

→ 偏回帰係数が大きいほど、影響力が大きいと評価し  
重点対策の対象に



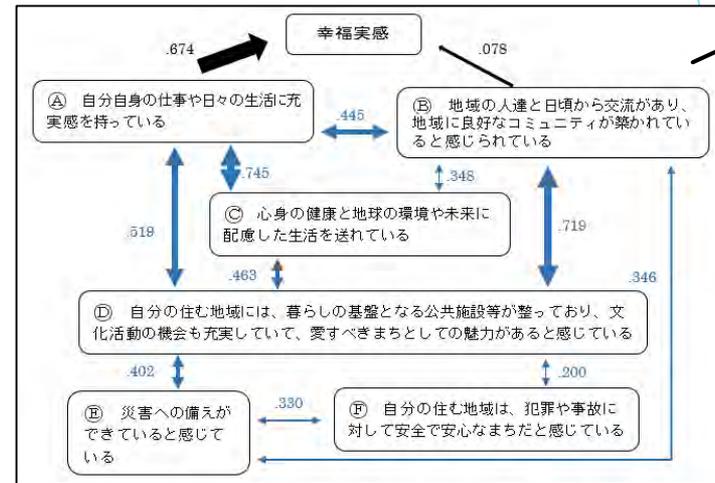
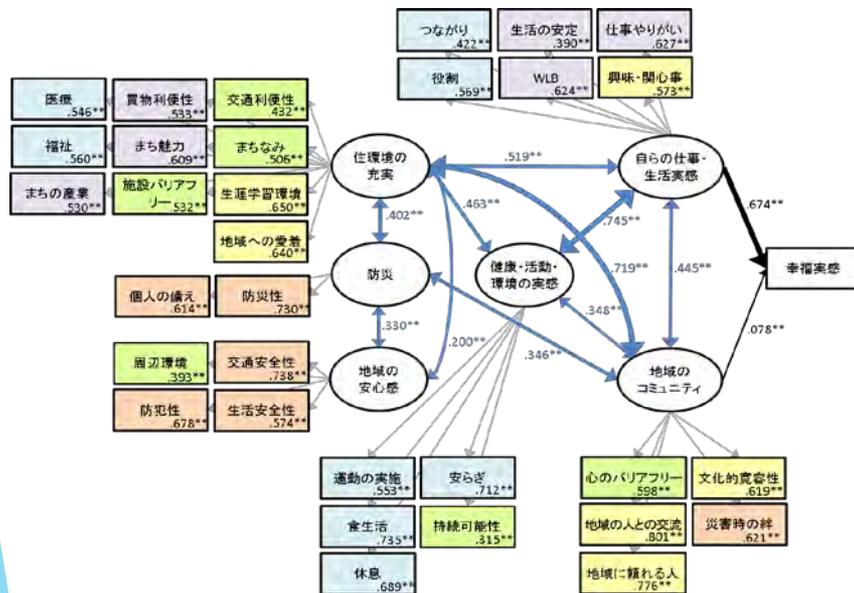
# 3 活用のステージⅢ (幸福実感の構造の見える化に挑戦)

## ▶ 政策の企画・立案、及び重点化への活用

○ 政策体系に拘らない幸福実感の構造は？

→ 政策体系とは切り離して、全ての下位指標の相互関係を見る化してみると  
(共分散構造分析)

共分散構造モデル (子育て・教育分野を除く)



3 2 指標が、6 2 つの因子に分類

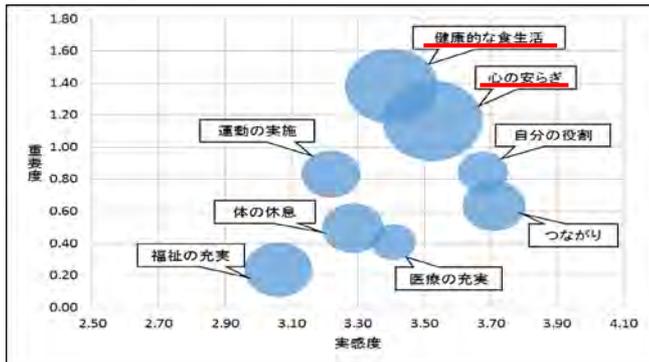
A ~ F : 各指標によって構成されている因子

黒い矢印 : 因果関係  
青い矢印 : 相関関係

# 3 活用のステージⅣ（活用の応用編）

- ▶ 個別事業の企画・立案への活用の事例
  - 健康実感の向上に向けて

実感度-重要度-影響の強さ（円の面積）グラフ

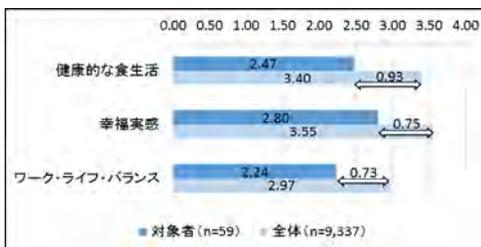


全体平均と比べて平均実感度が低い属性及びその対応策

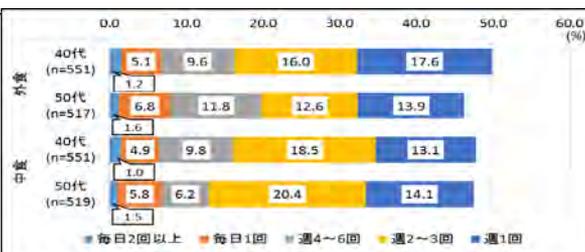
	実感度				対応策	
	健康的な食生活	心の安らぎ	健康の実感	幸福実感	就労又は福祉施策	他要素の影響 (ターゲット)
全体平均	3.40	3.52	3.32	3.55	-	-
性別						
男	3.39	3.50	3.30	3.44		○
年代						
40代	3.25	3.39	3.21	3.53		○
50代	3.33	3.46	3.17	3.46		
居住地域						
荒川	3.38	3.51	3.30	3.54		
町屋	3.36	3.51	3.27	3.51		○
東尾久	3.32	3.46	3.27	3.49		
居住形態						
借家(一戸建て)	3.18	3.38	3.11	3.33		○
借家(集合住宅)	3.16	3.41	3.15	3.40		
職業						
派遣社員	3.22	3.46	3.14	3.34		
パート・アルバイトなど	3.33	3.42	3.25	3.47	○	
長時間労働						
10~11時間	3.16	3.36	3.16	3.52		○
12時間以上	3.08	3.15	2.88	3.41		
求職状況						
仕事を探している	3.16	3.26	2.95	2.91	○	
配偶者の有無						
離婚・死別	3.32	3.48	3.19	3.40		○
未婚	3.14	3.44	3.12	3.25		
世帯年収						
~100万円	3.19	3.29	3.02	3.10	○	
100~200万円	3.33	3.42	3.18	3.24		
家族形態						
一人暮らし	3.15	3.51	3.18	3.28		○

健康施策のターゲットは、**配偶者がおらず一人暮らしで、長時間労働をしている働き盛り世代の男性**

GAH指標の平均実感度の差



40-50代男性の外出・中食利用頻度



提案：スーパーやコンビニと健康的な弁当等を共同開発  
→ 満点メニューの新ジャンルに

# 4 まとめに代えて

## ○指標の設定

- ・階層構造化
- ・政策施策との紐づけ

## ○活用のステージ

### I 単純集計

- ・行政評価
- ・個別計画
- ・人材育成ツール

### II クロス集計

- ・傾向把握のために(属性別集計)
- ・期待に応えるために
- ・不幸を減らしていくために
- ・効果的な幸福実感向上のために

### III 幸福実感の構造の見える化への挑戦

### IV 活用の応用編

- ・具体的施策立案の具体例

## ◎内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」とダッシュボードの活用

### <参考資料>

- 2018.12 「荒川区民総幸福度(GAH)に関する調査研究報告書—GAHアンケート5年分の解析から見えてきた政策課題とその取り組みの方向性試案」
- 2019.03 「荒川区幸福度研究」Vol.1,2,3 以上 公財) 荒川区自治総合研究所
- 2017.03 「荒川区健康増進計画(平成29-33年度)」 荒川区健康部健康推進課
- 2013-2017 各年度「荒川区民総幸福度(GAH)に関する区民アンケート調査<<集計結果>>」 荒川区総務企画部総務企画課

ご清聴ありがとうございました

聖学院大学 政治経済学部 政治経済学科 特任教授  
公財) 荒川区自治総合研究所 理事  
猪狩 廣美  
E-mail : [h\\_igari@seigakuin-univ.ac.jp](mailto:h_igari@seigakuin-univ.ac.jp)

# 荒川区民総幸福度（GAH）指標 質問文

分野	No.	指標	質問文
	1	幸福実感	あなたは幸せだと感じますか？
健康・福祉	2	運動の実施	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？
	3	健康的な食生活	健康的な食生活を送ることができていると感じますか？
	4	体の休息	体を休めることができていると感じますか？
	5	つながり★	孤立感や孤独感を感じますか？
	6	自分の役割	家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？
	7	心の安らぎ	心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？
	8	医療の充実	お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか？
	9	福祉の充実	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
	10	健康の実感	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？
	子育て・教育	11	規則正しい生活習慣
12		「生きる力」の習得	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？
13		親子コミュニケーション	親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？
14		家族の理解・協力	あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？
15		子育て・教育環境の充実	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など(提供しているのが、民間か行政かを問わず)が充実していると思いますか？
16		地域の子育てへの理解・協力	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？
17		望む子育てができる環境の充実	自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？
18		子どもの成長の実感	お子さんが健やかに成長していると感じますか？

# 荒川区民総幸福度（GAH）指標 質問文

分野	No.	指標	質問文
産業 （生活・産業・経済）	19	生活の安定★	生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？
	20	ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？
	21	仕事のやりがい	仕事に、やりがいや充実感を感じますか？
	22	まちの産業	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？
	23	買い物の利便性	お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？
	24	まちの魅力	荒川区は、区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？
	25	生活のゆとり	経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？
環境 （生活環境）	26	施設のバリアフリー	お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？
	27	心のバリアフリー	お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？
	28	交通利便性	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？
	29	まちなみの良さ	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
	30	周辺環境の快適さ★	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
	31	持続可能性	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？
	32	生活環境の充実	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？

# 荒川区民総幸福度（GAH）指標 質問文

分野	No.	指標	質問文
文化 （文化・ 文化・ コミュニ ティ）	33	興味・関心事への取組	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？
	34	生涯学習環境の充実	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？
	35	地域への愛着	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
	36	地域の人との交流の充実	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？
	37	地域に頼れる人がいる実感	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
	38	文化的寛容性	お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？
	39	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？
安全・ 安心	40	防犯性★	お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？
	41	交通安全性★	お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？
	42	生活安全性★	家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？
	43	個人の備え	災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？
	44	災害時の絆・助け合い	災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？
	45	防災性	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
	46	安全・安心の実感	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？